

デジタル田園都市国家構想交付金

(デジタル実装タイプ・マイナンバーカード利用横展開事例創出型)

活用事業について

デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）について



全国で
TYPE3
8事業
TYPE2
24事業
TYPE1
1,686事業

デジタル実装タイプ：TYPE1/2/3等の全体像

目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業の立ち上げに必要な経費を単年度に限り支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】（TYPE2の要件を満たす）新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立

が交付決定

長井市は
2事業が
交付決定

<TYPE別の内容> ※2/3は1団体1申請とすること

<p>マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】</p>	<p>カードの 新規用途開拓 かつ総合評価が 優れている取組</p>	<p>国費：6億円 補助率：2/3</p>
<p>データ連携基盤活用型 【TYPE2】</p>	<p>データ連携基盤を活用 した、複数のサービス 実装を伴う取組</p>	<p>国費：2億円 補助率：1/2</p>
<p>優良モデル導入支援型 【TYPE1】</p>	<p>優良モデル・サービスを 活用した実装の取組</p>	<p>国費：1億円 補助率：1/2</p>
<p>計画策定 支援事業</p>	<p>デジタル実装に取り組 もうとする地域の計画 づくりを支援</p>	<p>委託事業</p>

※上記の他、R4補正限りの時限措置として、
マイナンバーカード利用横展開事例創出型を創設（国費3億円、補助率10/10）
※申請上限数（上記TYPEの合算値）：都道府県9事業 市町村5事業

<対象事業（一例）>

【TYPE3】
マイナンバーカードで各種市民サービスを利用
(図書館利用や遊園地の受付等)

【TYPE2】
複数分野データ連携の促進による
共助型スマートシティ（会津若松市）

【TYPE1】

書かない窓口 地域アプリ 医療MaaS ドローン配送 遠隔医療

<その他の新規要素>

- ・マイナンバーカードの利活用促進、スタートアップの活用促進など、国の重要施策を推進する観点からの一定の優遇措置
- ・KPI（デジタル実装1,000団体）達成に向けたボトムアップ支援

事業概要

要介護認定事務において、現在は目視で行っている調査票と特記事項の整合性チェックに、AIの自然言語処理技術を採用し、業務の効率化を図る。また、申請から認定までに要する期間の短縮が見込まれ、各種介護サービスや介護福祉施設等の入所手続きが迅速に行えることで住民サービスの向上が期待できる。

KPI

- 【アウトプット指標(活動指標)】
- ・AIによる調査票確認件数
- 【アウトカム指標(成果指標)】
- ・要介護認定に要する平均日数

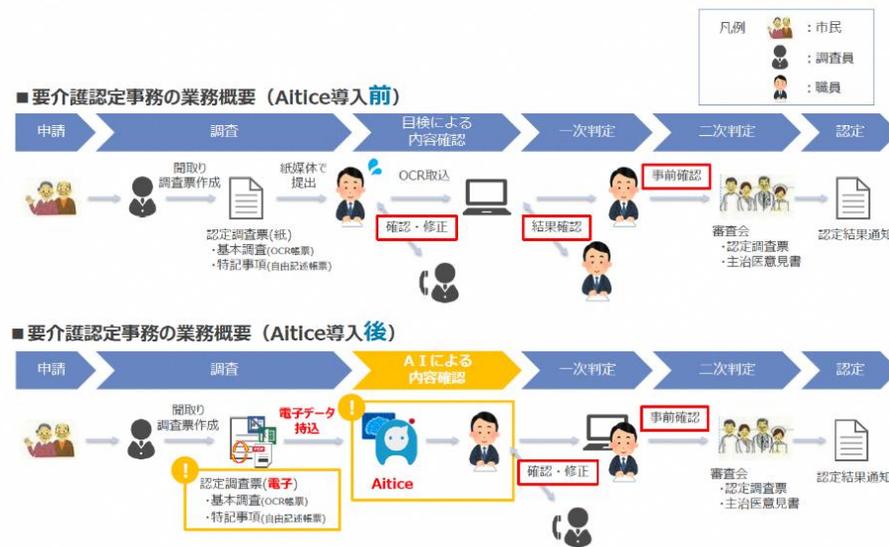
具体サービス

- 【要介護認定事務支援システム】
- ・住民サービスの向上
作業効率化されることにより従来よりも早く介護認定が受けられる。
- ・業務の質の平準化
目視による確認作業にAI技術を導入することにより、職員ごとに生じる判断基準のばらつきを取り除き、介護認定基準の公平性が担保が期待できる。
- ・職員の負担軽減
AI技術導入により目視による認定調査票の確認作業にかかる作業時間の削減

事業イメージ

Aitice適用範囲

Aiticeの適用範囲は、現行業務の「目視による内容確認」であり、職員の負担軽減が可能です。



事業概要

本事業により、一人一台端末や電子黒板等のICT機器を活用し、市内学校の教室と市内他校又は市外の学校等をオンラインでつないだ授業等を実施することにより、遠隔地の児童等との協働的な学びが実現できる。

また、特別な配慮が必要な子ども達の特性に応じたICT機器利用による、共生社会実現にも取り組む。

KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

・オンライン授業及び特別支援学級におけるICT活用の実施時間数

【アウトカム指標（成果指標）】

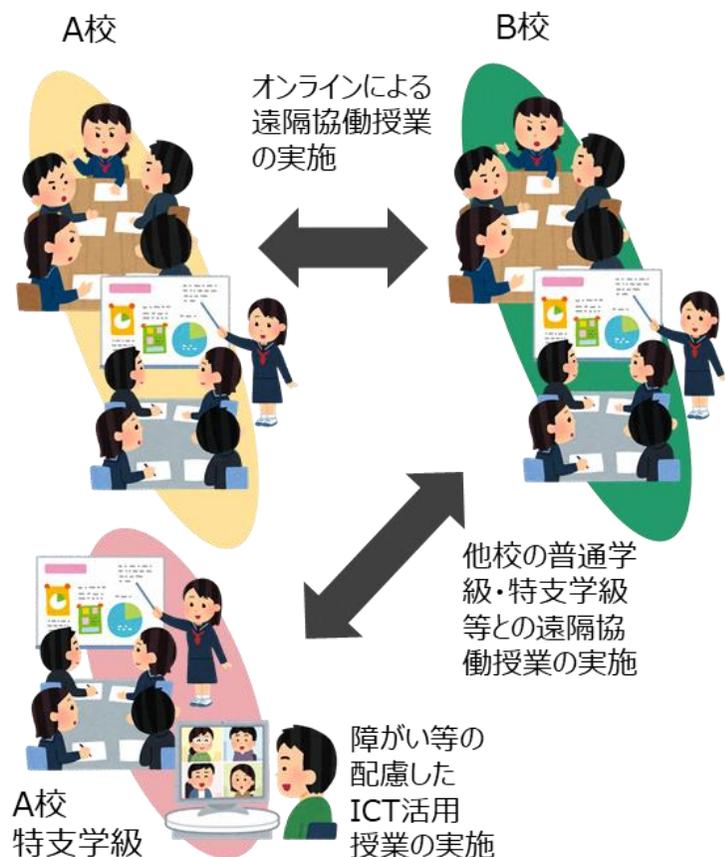
・オンライン授業及び特別支援学級におけるICT活用授業の満足度

具体サービス

【オンラインによる協働的な授業及び特別支援学級でのICT活用授業の実施】

- ・市内小中学校と市内他校、市内学校・施設等をつないだ授業の実施
- ・特別支援学級における子どもの特性に応じたICT活用授業の検討及び実施
- ・オンライン授業に必要な電子黒板等のICT機器の整備
- ・オンライン授業を円滑に実施するための事業者からのサポート

事業イメージ

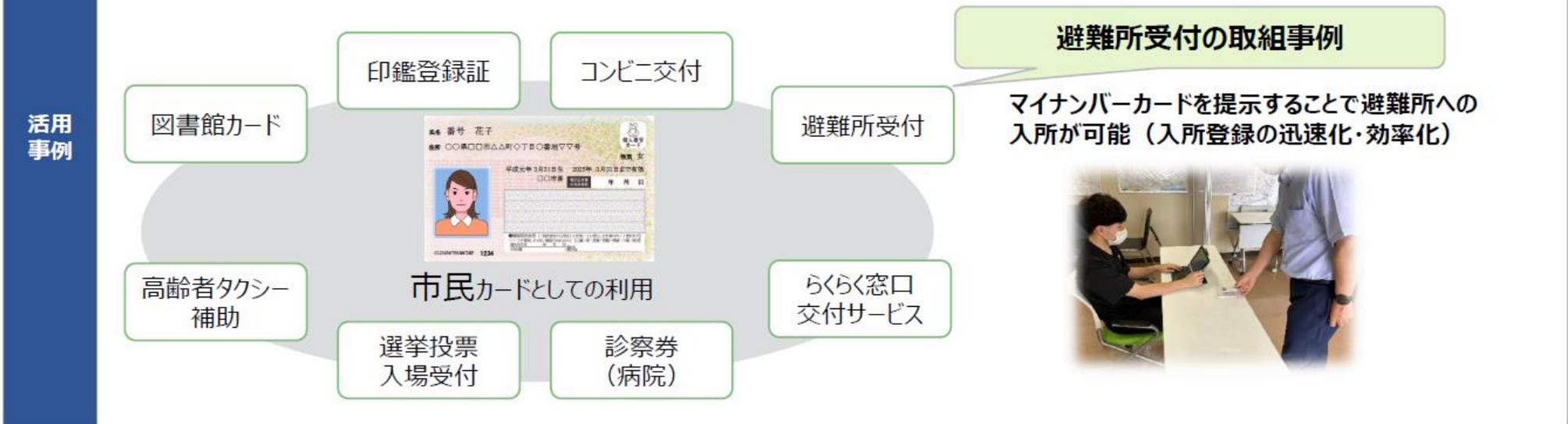


目的	マイナンバーカードの普及率が高い団体において、普及率が高いからこそ実施するメリットが大きいマイナンバーカードの利用の取組を実施し、 <u>全国への横展開モデルとなるマイナンバーカード利用の先行事例</u> を作る
対象団体	マイナンバーカードの申請率7割以上
対象事業	高普及率団体が実施する「 <u>当該団体内におけるカードの新規用途の開拓</u> 」かつ「 <u>他の地域における横展開が容易な取組</u> 」を対象とする。 ※他地域における横展開への協力を要件
支援内容	事業費：3億円（補助率10/10）

**全国で51事業、
85億円の事業が交付決定**

活用例： 「市民カード化」 構想

一例として、マイナンバーカード1枚で様々な市役所サービスが受けられるようにする「市民カード化」構想の取組などを想定



事業概要

社会構造の変化や急増する異常気象等の影響を受け、各分野で人手不足の対応や需要等様々な変化に対応できるサービス提供が課題。本事業ではマイナンバーカードの機能を活用した3つのシステムを導入し、課題の解決と施設の利便性向上につながる環境を整備。また、本事業で得られたデータを分野横断的に既存の調査結果等と組み合わせて分析することで、データに基づく企画立案、既存事業のリデザインやターゲットの再設定を図る。

KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ① マイナンバーカードを活用して受付等を行った割合
- ② マイナンバーカードを図書館カードとして利用登録を行った人数
- ③ 施設利用者のうちスマートロックシステムを活用し鍵の開錠を行った割合

【アウトカム指標（成果指標）】

- ① マイナンバーカードを活用して受付を行ったイベント等における参加者数の増加率
- ② 図書館における図書の貸出冊数
- ③ 公共施設等の利用者数の増加率

具体サービス

- ・ マイナンバーカードを活用した **公共施設等入退所管理システム**の導入
- ・ マイナンバーカードを図書館利用カードとして活用する環境の構築
- ・ マイナンバーカードを活用した **スマートロックシステム**の導入

事業イメージ



**住民の多くの方にカードを保有
いただいている状況を活かし、
様々な場面でのカード活用を目指す。**

【R5年7月末現在】
人口に対する保有枚数率：83.0%
…全国30位
人口2万人以上の自治体5位

【システム導入を目指す背景】

◆各公共施設の利用やイベント参加の紙による受付

- ・住民にとって記載することが負担となっており、少なからず時間も要している。
- ・人手が少ない中で受付作業に人員を配置したり、名簿との照合や後の集計作業に労力や時間がかかっている。

→令和4年8月豪雨の際の避難者受付時も時間を要した。

- ・受付時の記載内容によっては、「どこの、誰が、いつ来たか」等の詳細なデータの把握や分析ができていない。

◆紙による入場券の配付等

- ・都度発行経費が掛かっている。
- ・配付することに労力と経費が発生。

【システム導入を目指す背景】

◆施設利用者、鍵管理人の課題

- ・施設利用者が鍵の管理人まで鍵を借りに行くことに負担。
- ・鍵の管理人は鍵の受け渡し等のために、自宅に待機している必要。
- ・現在は各施設の比較的近所に居住しており、信頼のある方をお願いしているが、今後の鍵管理人の担い手確保にも課題。

◆鍵管理、セキュリティの課題

- ・避難所開設時は、担当職員が管理人に鍵を借りに行く必要があり、開設までに時間を要する。
- ・鍵の第3者への受け渡し、鍵の紛失。

【システム利用フロー】

Step 1

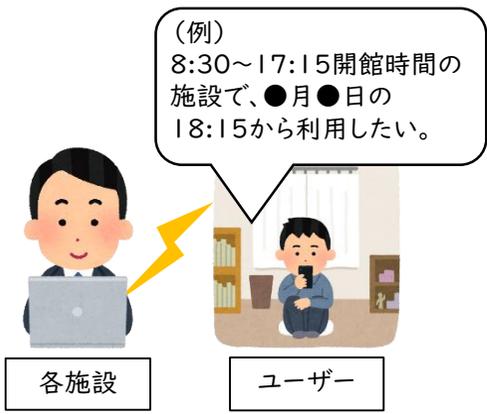
カードAP搭載、
システム利用者登録



市役所に来庁し、システム利用希望者のマイナンバーカードにカードAPを搭載

Step 2

開錠権限登録



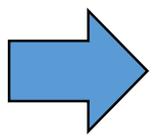
施設が施錠される時間帯に施設を利用したい場合、その旨を施設に連絡。使用希望日、仕様希望時間帯のみ開錠権限を付与。
後日または、あらかじめ施設の利用申請、料金支払いを済ませておく。

Step 3

開錠



利用する時間帯になったら、権限付与が行われたマイナンバーカードで開錠。



各小中学校、各コミュニティセンター、市役所市民防災研修室、市保健センターに整備予定

【図書館カード】

これまでの利用フロー



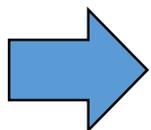
- ① 図書館カード裏面のバーコードを読み取り
- ② 借りたい本のバーコードを読み取り
- ③ 完了

マイナンバーカード利用フロー



あらかじめマイナンバーカードの情報と図書館カード情報を紐づけ登録が必要

- ① マイナンバーカードをリーダーで読み取り
- ② モニターにバーコード(図書館カード裏面バーコードと同様のもの)を表示、読み取り
- ③ 借りたい本のバーコードを読み取り
- ④ 完了



カードを複数枚持つ負担を軽減